

専門分野・老年看護学 授業計画

授業科目及び時間数	老年看護概論 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	田村万寿美	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt;</p> <p>核家族化が進み、人生の先達としての尊敬や畏敬の念を抱きにくい社会環境にある学生が老年看護学を学ぶ第一歩として、演習やグループワークを通し老年期について幅広く理解することをねらいとした単元である。</p> <p>人生の最終ステージを自己実現に向けて生きている老年期の対象と、後期高齢者人口の増加や家族形態の変化による社会情勢の変化と保健医療福祉制度の変遷と看護の役割について学習する。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢による身体面・心理面・社会的側面の変化を理解する。</li> <li>2. 社会情勢の変化と保健医療福祉制度の変遷と看護の役割について理解する。</li> </ol>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1.オリエンテーション 2.老いるということ ～ 身体的・精神的・社会的変化 ～	講義	
2回目	1.高齢者体験	演習	
3回目	1.高齢者体験	演習	
4回目	1.高齢者体験グループ発表会：テーマ「高齢者体験を通して」	グループワーク発表会	
5回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向 テーマ「保健医療福祉制度の変遷」	個人作業	
6回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向（専門家）	グループワーク	
7回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向（ホーム）	グループワーク	
8回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向（全体発表） 2.補講講義	グループワーク発表会	
9回目	1.高齢社会と社会保障：高齢社会の統計的輪郭	講義	
10回目	1.高齢社会と社会保障：高齢社会の統計的輪郭	講義	
11回目	1.高齢者の権利擁護	講義	
12回目	1.高齢者の権利擁護	講義	
13回目	1.老年看護の役割	講義	
14回目	1.老年看護における理論	講義	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験（80%） 演習・グループワーク及び発表会（20%）		
受講生に対するメッセージ	老年看護概論では、演習・グループワークが総講義時間のおよそ半数を占めています。自ら考え、積極的に参加することで知識を定着できるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 出版社：医学書院		